

うらわ美術館

多世代交流ワークショップ ～「BIB」をミテミル。～

取組内容・工夫したところ・子どもの様子など

- 展覧会「ブラチスラバ世界絵本原画展 アンニョン！絵本でひらくアジアの扉」の関連事業として、子どもから大人まであらゆる世代の人たちが集まり、展覧会の出品作品の鑑賞を対話しながら深めるワークショップを開催した。
- 図書館員にファシリテーターの1人として参加してもらい、出品作品（絵本の原画）を鑑賞した後にその（作品原画の）絵本の読み聞かせをすることで、普段の絵本の鑑賞とは異なる体験を行った。
- 絵本の原画で想像を広げた後、図書館員に読み聞かせを行ってもらうことで、参加者全員が絵本の読み聞かせに引き込まれた。
- 絵本と原画を切り離して、再構成させるというプロセスを踏んだことは参加者をより深い絵本の世界の鑑賞へと誘った。参加者からも「新しい絵本の鑑賞体験ができてよかった。」と概ね高評価であった。

活動風景

